



米子城魅せる！プロジェクト 2018  
スタンプラリー対象イベント

## 春の米子城下町がっつりウォーク！

春の米子城下を巡り、近世から現代へとつながる米子の歴史を感じてみませんか。

- と き 4月7日(土) 午前10時～正午  
(山陰歴史館前集合・解散)
- 参加費 100円(資料代) ※事前申込不要
- 駐車場 市役所駐車場をご利用ください。(駐車券をお持ちください。当日受付時に無料処理します。)
- その他 雨天決行。雨具等は各自でご用意ください。動きやすい服装でご参加ください。
- 問合せ 文化振興課  
(☎23-5438、FAX23-5414)

## 史跡米子城跡発掘調査現地説明会 2018

平成29年度の発掘調査で確認された米子城<sup>たてぼり</sup>の遺構について、担当学芸員による現地説明会です。

- と き 4月21日(土) 午後1時～2時30分
- 集合場所 米子城跡枅形(鳥取県西部医師会館前、午後0時50分までにお集まりください。)
- 駐車場 湊山公園駐車場または市役所駐車場をご利用ください。(市役所駐車場をご利用の方は駐車券をお持ちください。当日受付時に無料処理します。)
- その他 少雨決行。雨具等は各自でご用意ください。動きやすい服装でご参加ください。
- 参加費 無料 ※事前申込不要
- 問合せ 文化振興課  
(☎23-5438、FAX23-5414)

米子市公会堂虹のひろば23回公演

## 「ピアノと弦楽四重奏の夕べ」

米子市公会堂のサロンコンサート「虹のひろば」23回公演は、ピアノと弦楽四重奏のコンサートです。出演は、米子市在住のピアニスト、



山川智馨さん



だらずかるてつと

山川智馨さん、弦楽四重奏は鳥取大学室内管弦楽団にゆかりのあるメンバーで構成された「だらずかるてつと」の皆さんです。ピアノ演奏ではシューマンの謝肉祭を、弦楽四重奏ではエルガーの朝の歌、荒井由美のひこうき雲などを演奏する予定です。若手の演奏家たちの魅力あふれるステージをお楽しみください。

- と き 4月23日(月)  
開演：午後7時、開場：午後6時30分
- ところ 米子市公会堂ホワイエ
- 入場券 一般500円、高校生以下無料  
米子市公会堂・米子市文化ホール・米子市淀江文化センターにて販売
- 主催 米子市公会堂虹のひろば実行委員会、  
(一財)米子市文化財団【米子市公会堂】
- 問合せ 米子市公会堂 (☎22-3236)

## 「よなごの宝88選」から



### 大山遠望の地 《宝No.87》

今年は、大山寺が開創されてから1300年を迎える年に当たるとされ、これを祝うさまざまなイベントが各地で予定されています。大山は古くから人々の信仰の対象としてだけでなく、多くの恵みをもたらしてきた山です。大山周辺の人々は感謝の念と親しみを込めて「大山さん(のおかげ)」と呼んできました。

米子の景観で最もすぐれているのは大山の遠望です。市内のどこから眺めても、その美しさは伯耆富士の名に恥じません。

寛政9年(1797)、鳥取藩絵師片山楊谷(1760～1801)は「大山眺望絵図」を制作しましたが、その第一は「中海、大山眺望」、第二は「福厳院、大山眺望」そして第三は「戸上山、大山眺望」で、どれも雄大で、とてもすぐれた趣のある作品です。(原画は山陰歴史館蔵)

市内から大山を遠望するスポットは、次の6か所をお勧めします。ぜひご覧ください。

- 岡成池
- 戸上城跡
- 中海の海上
- 日野川堤防
- 美保湾沿いの弓浜海岸
- 米子城天守跡

【よなごの宝88選実行委員会】

片山楊谷『大山眺望絵図』



『中海、大山眺望』



『戸上山、大山眺望』



『中海からみた大山』



『戸上城跡からみた大山』

平成22年5月号から掲載してきました『よなごの宝88選』からは、今回をもって最終回となります。『市民が選んだよなごの宝88』は、市民の日常生活に溶け込んでいる風景や樹木、何気なく建っている路傍の石碑・石像、また普段はあまり気にも留めないで歩いている小路や古道です。

それらは、長い歴史の中で市民に育てられ愛されてきた『宝』です。これからも市民の皆さんと一緒に、この宝を守り、伝え、活かしていきたいと思っています。ご愛読いただきありがとうございました。

よなごの宝88選実行委員会



バックナンバーが  
PDF ファイルで  
ご覧いただけます。



同じ中学校に通う同級生、**戸山ミナちゃん**と**平山ジローくん**が米子の歴史や文化（カルチャー）のことに  
わしい**かるちゃん**といっしょに米子城の魅力や謎に迫ります。今回は4月から始まる「続日本100名城」や「米  
子城 魅せる！プロジェクト 2018」で行なうスタンプラリーなどについてご紹介します。

**かるちゃん**：4月6日は「城の日」だね。4（シ）6（ロ）で「城」という語呂合  
わせだ。これは、公益財団法人日本城郭協会（じょうかく）が昭和49年（1974）  
度に定めたものなんだよ。

**ジローくん**：語呂合わせの記念日はたくさんあるけど、これは歴史が長いね。

**かるちゃん**：日本城郭協会は、お城にまつわる歴史や文化の普及・啓発に係るさま  
ざまな事業を行なっている団体だ。ちなみに「日本100名城」と  
いうのは知ってるかな？

**ミナちゃん**：全国の城郭や城跡の中から100か所を選定したものね。ガイドブッ  
クを片手にスタンプラリー方式でお城巡りが楽しめるのよ。

**かるちゃん**：そう。実はこれは、城郭協会の創立40周年記念事業として実施され  
たもので、平成18年の「城の日」に認定証が授与されている。

**ジローくん**：残念ながらこのとき、米子城は選に漏れてしまったんだね。

**かるちゃん**：米子城跡が国史跡に指定されたのが平成18年だから、選定時点での  
知名度みたいなのも影響したかもしれないね。

**ミナちゃん**：そして去年、「続日本100名城」に選定されたのよ。

**かるちゃん**：そうだね。今月6日の「城の日」には、「続日本100名城」のスタン  
プラリーがスタートするよ。米子城のスタンプは、天守跡の東屋（あずまの）に  
常設されるのと、天守に上がれない方のために山陰歴史館にも設置  
されるんだ（※山陰歴史館は開館時のみ押印可）。

**ジローくん**：湊山公園で開催中の「桜まつり」とあわせてナイス城山日和（びより）だね。

**かるちゃん**：今月は「米子城 魅せる！プロジェクト2018」も動き出すね。まずは7日の「春の米子城下町がっつりウォーク！」だ。

**ミナちゃん**：7日は湊山公園で、「春の米子市民大茶会」が開催されるし、加茂川・  
中海遊覧「さくら船」（問合せ：米子市観光案内所）も運行されるわ  
ね。米子城周辺が、がっつりにぎやかになるわね。

**ジローくん**：そして、21日の「史跡米子城跡発掘調査現地説明会2018」では、  
平成29年度の発掘調査で確認された塹壕（たてほり）の解説が聞けるんだね。

**かるちゃん**：それと今年度は、「米子城 魅せる！プロジェクト」としてのスタン  
プラリーもあるんだ。対象イベントに参加するごとにスタンプを押  
してもらい、これを年度内に10個以上集めると「米子城マスター」  
に認定され、認定記念グッズがゲットできるという仕組みだ。

**ミナちゃん**：それは楽しそう。「めざせ！米子城マスター」が合言葉ね。

「続日本100名城」と「米子城 魅せる！プロジェクト2018」のスタン  
プラリー。どちらも注目ですね。次回もお楽しみに！

（米子市文化振興課）



「続日本100名城」公式ガイドブック



春の米子城下町がっつりウォーク！



発掘調査現地説明会